

小学生の時に青年海外協力隊員の方のお話を伺う機会があり、その時から世界について興味を持つようになりました。中学生になり海外に行きたいと思っているうちにコロナの大流行で外国は一気に遠くなりました。そんな時、フェアトレードチョコレートについて調べて作文を書きました。私よりももっと小さな子供たちが、学校にも行かず、生きるために働く現状を知りました。小さな子供が手を伸ばして、やっと届くくらいの高さの木から、カカオの実を必死にとっていました。生きるために働く子どもたち。その後、複雑な気持ちになって、チョコレートを買うことを少しためらうようになりました。私がすべきことはチョコレートを買わないことではないと分かっています。しかし、自分にできることを今はまだ、はっきりと「これだ」と言えません。世界のこともっと知りたい、世界中の人のこともっと知りたい、世の中のことを知りたい、そう思うようになりました。このことについて書いた作文で賞をいただき、昨年、マレーシアに研修に行かせていただきました。海外に行けることや、文化や宗教に特色を持つマレー人との交流がとても楽しみで、「マレーシアノート」を作ったりしていました。しかし、現地に行って、私は、自分が考えていた以上にコミュニケーションが取れませんでした。それは語学的なことよりも、自分の生活習慣のせいです。気づくと省略ことばを使っていました。あれから私は「り」を使うことをやめました。相手の考えていることを「知りたい」と思うからです。会話が続くようになりました。それから、自分が考えていることを相手に伝えるために努力するようになりました。「分かってもらいたい」と思うからです。新聞も読むようになりました。「知りたい」と思うからです。

2年連続で賞を頂けたことは本当に幸せなことです。ありがとうございました。研修や授賞式で出会ったみなさんは、魅力的な人ばかりで、刺激を受けました。エッセイコンテストを通して、私は自分について振り返ることができました。

カカオ収穫をする子どもたちはチョコレートの存在を知りません。このことはとてもショックでした。どうすれば解決できるのか…。チョコレートを買うか、買わないかではない。募金をする…しないよりはしたほうがいいけれど解決はしない。もっと根本的なことが必要だと思います。でも詳しく分かりません。だから私はもっと勉強します。地理も英語も国語も科学も数学も、勉強は苦手ですが、世界の問題を解決できる人になりたいので、勉強しようと思います。